

## イネ紋枯病が多発しています。 防除を徹底しましょう！

岡山県病害虫防除所の調査（中南部地帯の18地帯、54圃場）によると、イネ紋枯病の南部地帯の発生圃場率は66.7%（（**平成37.5%**））、発生程度「中」\*以上の圃場率は11.1%（（**平成5.4%**））、中部地帯の発生圃場率は100%（（**平成52.2%**））、発生程度「中」\*以上の圃場率は27.8%（（**平成11.4%**））と高くなっています。上位3葉鞘以上の上位葉が発病すると被害が生じるので、発病を認めた圃場では防除を徹底しましょう。

広島地方気象台9月5日発表の季節予報では、向こう1か月の平均気温は平年より高いとされています。本病は高温多湿により発生が助長されるため、今後大気不安定な状態が続くと、にわか雨などによって病勢が急激に進展する可能性があります。

\*発生程度「中」：発病株率が50%以上で、病斑が上位3葉鞘まで認められる。

### 1. 防除対策及び防除上の参考事項

- (1) 本病の防除適期は穂ばらみ期～出穂期ですが、穂首出揃期までに、粉剤、液剤、水和剤を散布すれば、ある程度の防除効果が見込まれます。上位葉まで進展が認められる場合は速やかに防除を行いましょう。
- (2) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターホームページ (<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>) でご確認ください。

表 主な防除薬剤（令和元年9月9日現在、単一成分の薬剤のみを記載）

薬剤名	農薬使用基準			FRACコード <sup>注)</sup>
	使用時期	使用回数	希釈倍数・使用量	
バリダシン液剤5	収穫14日前まで	5回以内	1,000倍	U18
バリダシン粉剤DL	収穫14日前まで	5回以内	3～4 kg/10a	
バンタック水和剤75	収穫14日前まで	3回以内	1,000～1,500倍	7
モンカットフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	1,000～1,500倍	
モンカットフロアブル40	収穫14日前まで	3回以内	2,000倍	
モンカットファイン粉剤20DL	収穫14日前まで	3回以内	3～4 kg/10a	20
モンセレンフロアブル	収穫21日前まで	4回以内	1,500倍	

注) FRACコード表による農薬有効成分の作用機構の分類

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

